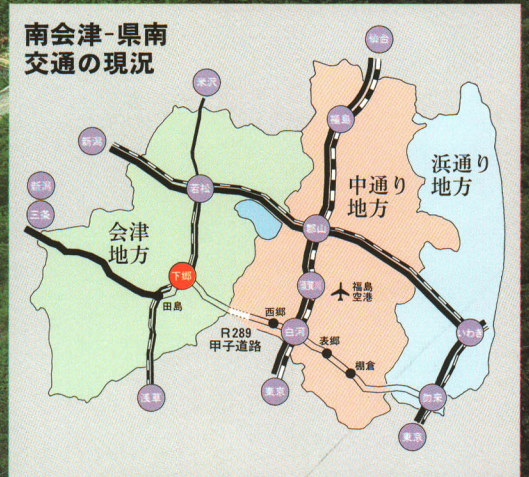


# 21世紀を拓く、国道289号線全線 開通に向けて広がる交通形態



## 下郷の地域景観を育成します

下郷の財産である地域景観の保全・育成に努めます。そのため景観阻害要因を極力排除するとともに、積極的な沿道植栽などにより地域景観の育成を図ります。

## 既存の観光地の活性化を図ります

町村の様々な資源を有効に活用する施策を確立するとともに、有機的なネットワークづくりを進めます。特に既存観光地である大内宿と塔のへつりについては周辺を含めた抜本的な整備計画の策定、湯野上温泉の魅力向上などを推進します。また国道二八九号の開通に伴い裏那須地域の計画的な整備・保全を図ります。

一方、農業をはじめとする他産業との連携を図り、食材の供給や観光土産品の開発を促進します。

## 新しいリゾートづくりを進めます

会津フレッシュリゾート構想の重点整備地区に指定された大内、中山地区のリゾルト構想は、長期的な視点に立ち、構想推進に向けた事業方策の確立を図ります。またリゾート客の滞在期間の長期化と活動の多様化に資するため、地道な地域資源の掘り起こしと活用方策の検討を進めます。

## 都市との交流事業を積極的に進めます

下郷の自然を生かし、都会の人々の積極的な受入れを図ります。既に実施している保谷市や横浜市保土ヶ谷区等との交流は、今後も多様な展開を図ります。また農村休暇・ふるさと民宿事業を積極的に推進するため、各種制度の創設や組織的な取り組みを強化します。

長期的には下郷と共通点の多い出せる海外の都市との交流も検討していきます。

## 下郷の顔となる都市づくりを進めます



## 新しい生活インフラである通信システムの整備を図ります

町民の交流拠点でもある役場庁舎の新設に合わせ、周辺地域の計画的な整備を推進します。また都市計画区域の指定に努め、各種都市計画事業等の導入により下郷の顔となる都市づくりを推進します。国道二八九号沿線の計画的な土地利用を推進します。

交流促進と地方定住のための社会資本と位置づけられる高度情報システムへの積極的な対応を図ります。